

(19) 日本電特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平6-501139

第7部門第3区分

(43) 公表日 平成6年(1994)2月3日

(61) Int. Cl. ³	識別記号	序内整理番号	F I
H 0 4 Q 7/04		K 7304-5K	
H 0 4 B 7/26	1 0 8	A 7304-5K	
H 0 4 L 9/00			
9/10			
	7117-6K		H 0 4 L 9/60 Z
	審査請求 有	予備審査請求 有	(全 22 頁) 最終頁に続く
(21)出願番号	特願平3-515019		
(96) (22)出願日	平成3年(1991)7月18日		
(55)特許文書出日	平成5年(1993)1月19日		
(86)国際出願番号	P C T / U S 9 1 / 0 5 0 8 5		
(87)国際公開番号	W O 9 2 / 0 2 0 8 8		
(87)国際公開日	平成4年(1992)2月6日		
(31)優先権主張番号	5 5 6, 1 0 8		
(32)優先日	1990年7月20日		
(33)優先権主張国	米国 (U S)		
(61)指定国	A U, C A, G B, J P, K R		
(71)出願人	エリクソン ジーイー モービル コミュニケーションズ インコーポレイテッド アメリカ合衆国22709 ノース カロライナ州 リサーチ トライアングル パーク, トライアングル ドライブ 1, ビー・オー・ボックス 13869		
(72)発明者	デント, ボール, ウィルキンソン スウェーデン国エス - 240 36 スタハグ, スタハグス プラストガルド (番地なし)		
(74)代理人	弁護士 浅村 雄 (外3名)		

(54) 【発明の名称】 ハンドオフ時における符号化システムの再同期

(57) 【要約】

符号化された通話 (203、206) を一つのセルから別のものに切り換えることができる、二重セルラ無線システムにおける符号化 (203、206) と符号同期 (204、205) の両方のための方法。ハンドオフの準備、迅速第1再同期手段が、一方の音声チャンネルのみを中止し、このような一方に再同期情報を送信する。成功した再同期の指示が他方向において検出されるとすぐに、第1再同期手段は再同期情報の送信を中止し、そして音声チャンネルのそのような一方を開放する。このような成功した再同期の検出後、そのような一方のスピークトラフィックの送信が再開される。成功した再同期が行なわれたが他方向への送信不良によって検出されていない場合に、このような一方を再同期情報の連続送信で占領してしまうことを回避するために、上層が、第1再同期手段がそのような一方を中止する時間長に、設定される。このようなタイムアウトの後、再同期情報が、第2の再同期手段によって、より遅い速度で、トラフィックデータと多重化される (209及び211) 低速制御チャンネルのビットストリームを通じて、与えられる。

